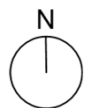


東大阪市文化創造館



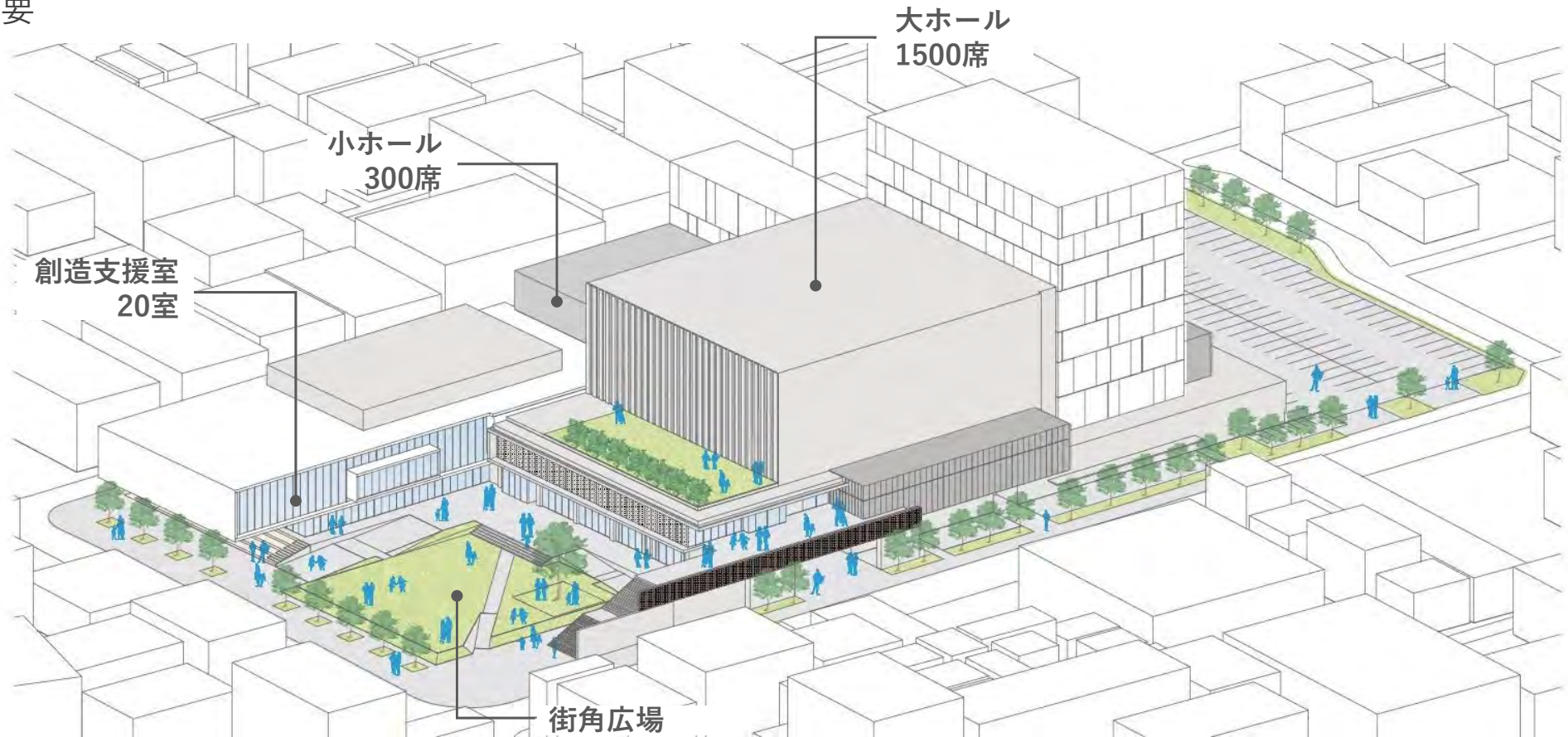
施設概要

敷地、周辺環境



敷地は東大阪市八戸ノ里地区の近鉄奈良線八戸ノ里駅北側200mほどに位置している。
周辺は、低層住宅や中層集合住宅、更に多様な事業所が密集して建ち並び、混在する市街地が平坦な土地の上に広がっている。

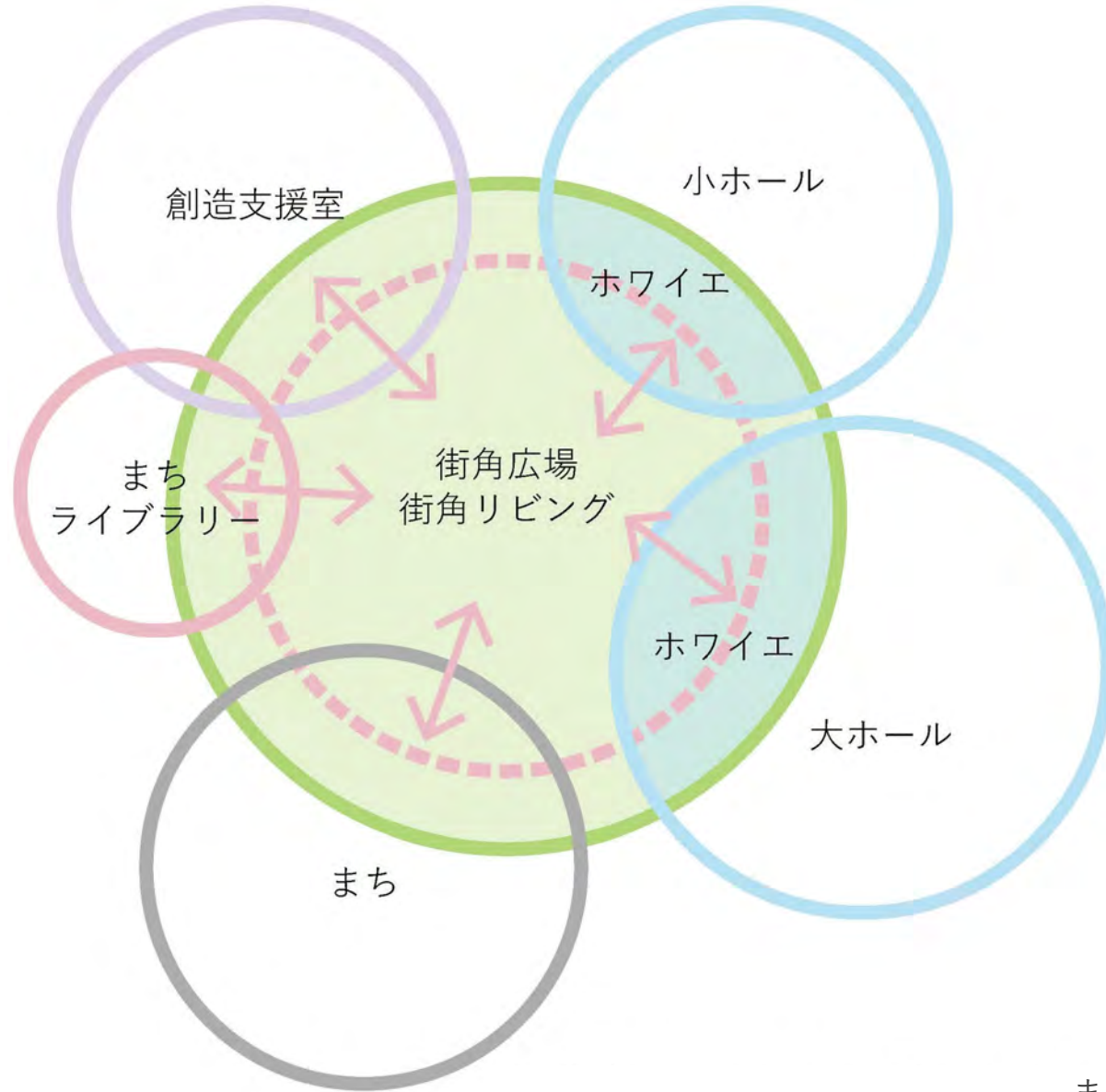
施設概要



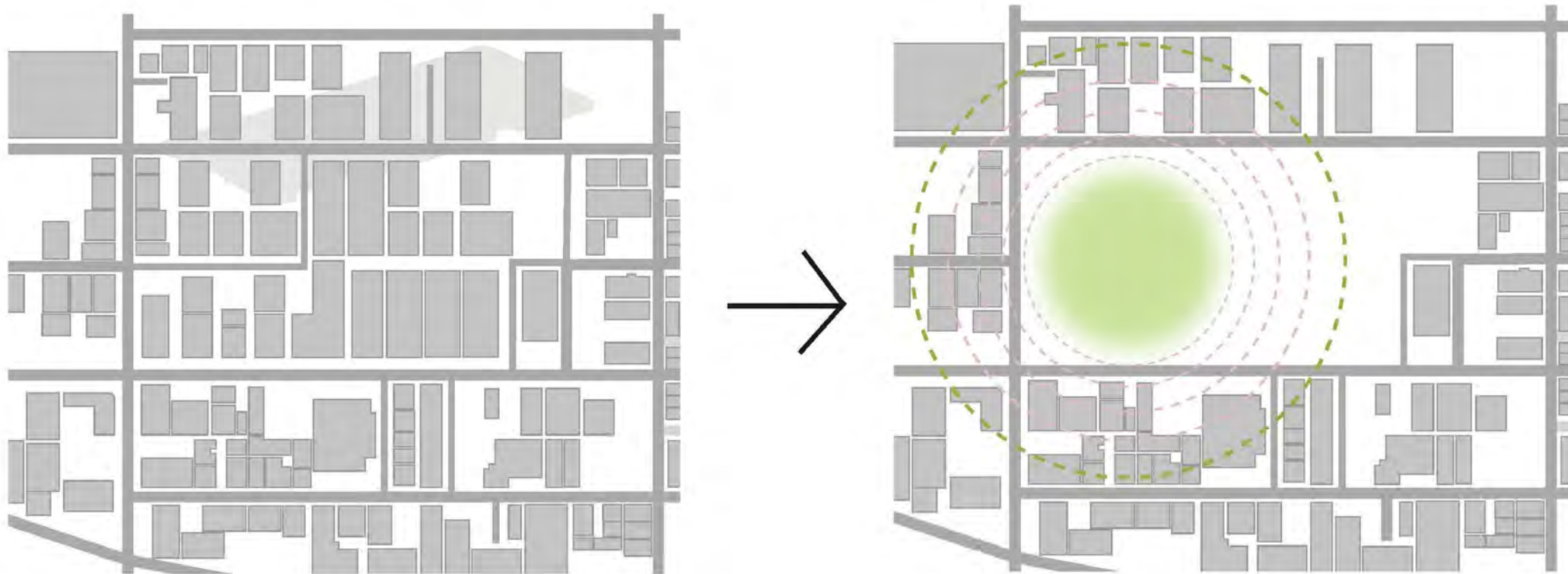
建築主：東大阪市・PFI東大阪文化創造館株式会社
設計者：東大阪文化創造館設計・音響コンサル共同企業体
株式会社佐藤総合計画関西オフィス
株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所
株式会社永田音響設計

敷地面積：13,976.88㎡
建築面積：7,861.94㎡
延べ面積：14,934.29㎡
構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数：地上5階／地下1階
CASBEEランク：S BEE値：4.6

設計コンセプト

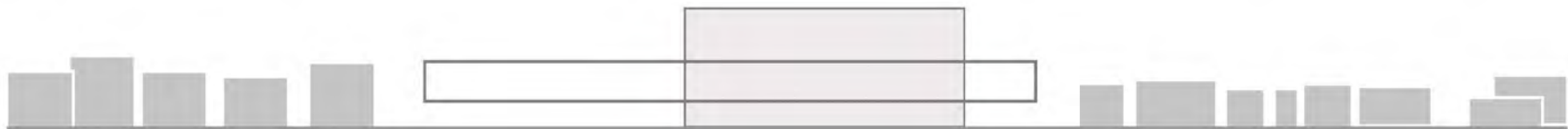
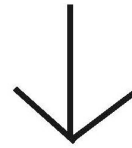
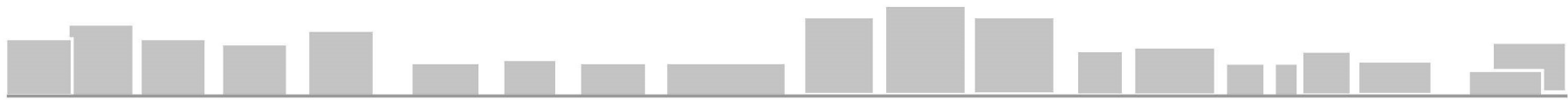


まちとつながる施設コンセプト

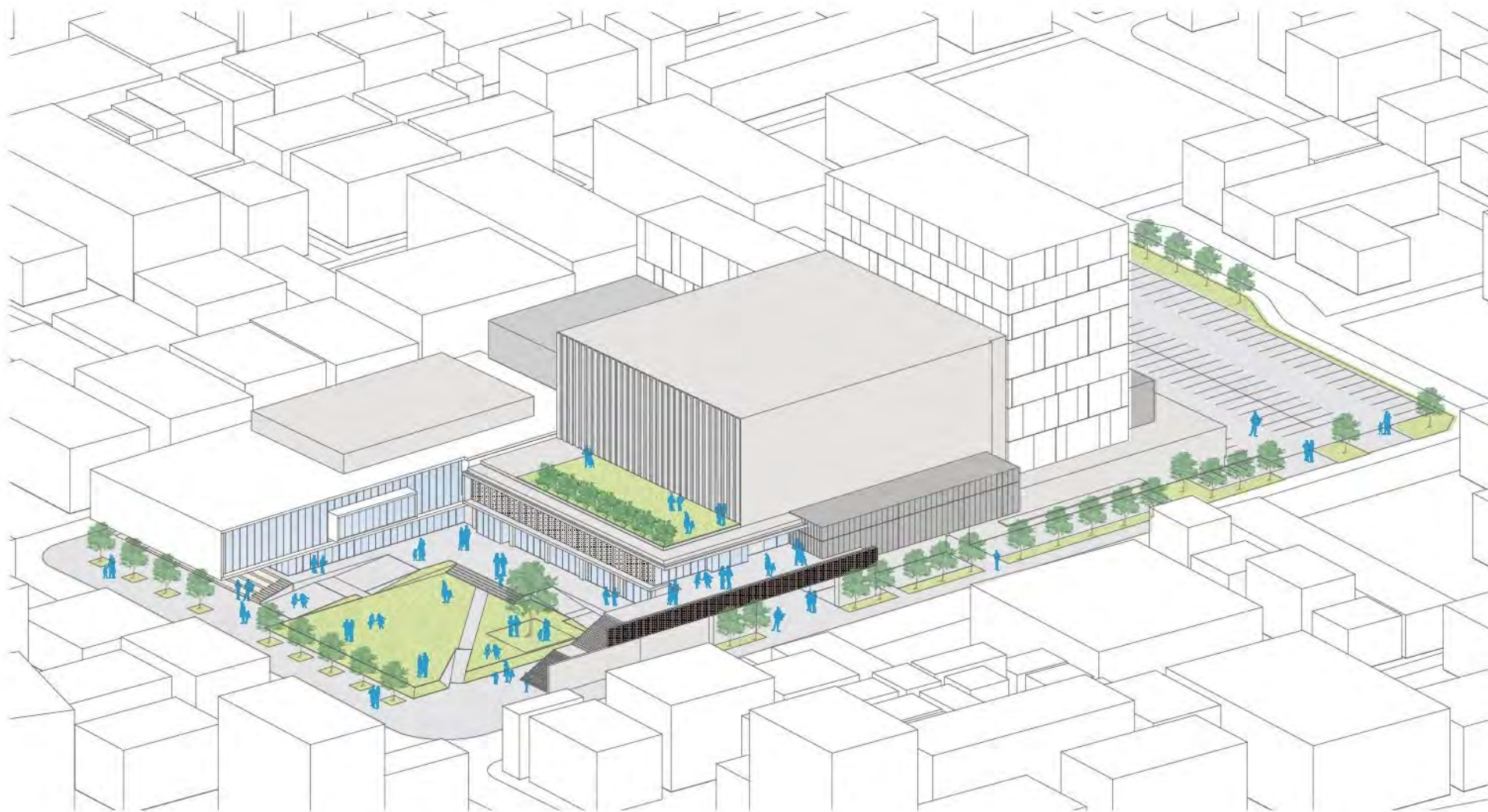


① 低層高密度な街にオープンスペースをつくる

施設コンセプトの建築化



- ② オープンスペースに面して、水平垂直のバランスを意識した建物ボリュームを設定し、均質な街に非日常的なスケール感を与える



③ 建物ボリュームは周辺環境のスケールに合わせて、箱の集合体のように分節化し、それぞれの箱に建築的な表情を持たせ、内部で起こる文化活動を街に発信する

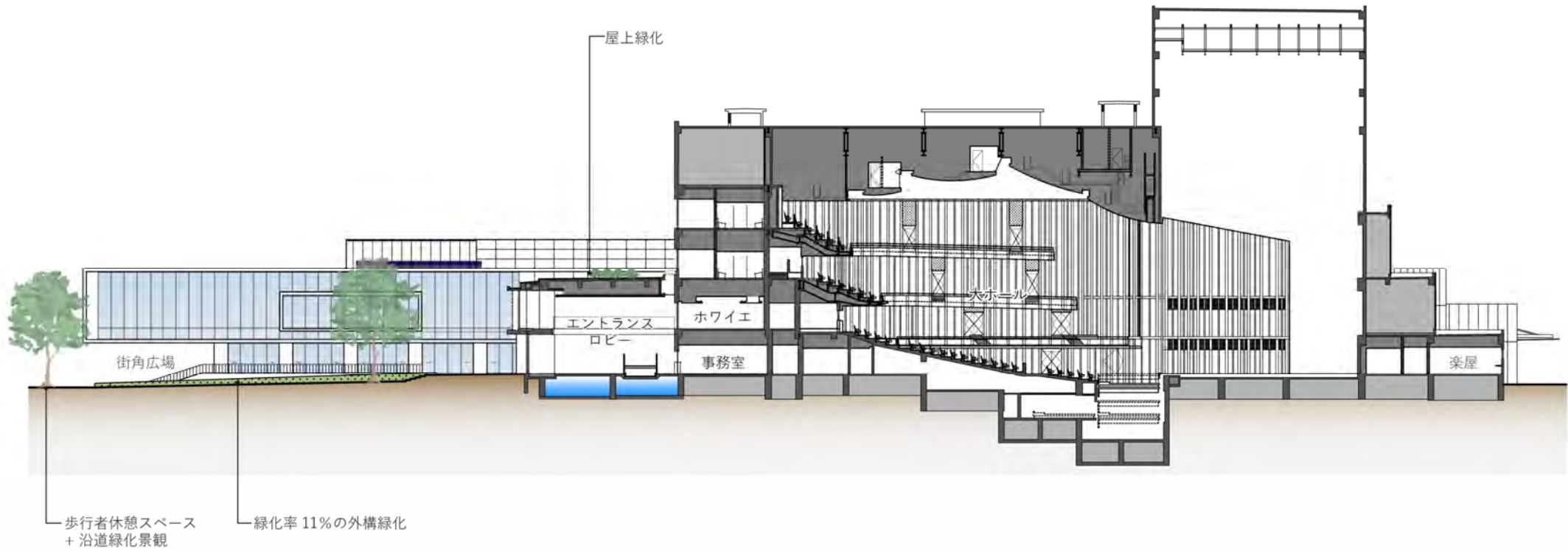
施設コンセプトの建築化

環境配慮事項

- 1) 地域の環境向上・市民生活に寄り添う施設
- 2) 劇場建築としての環境配慮
- 3) 自然エネルギーの有効活用と省エネシステムの採用
- 4) 公共建築としてのBCPを高めた施設計画

1) 地域の環境向上・市民生活に寄り添う施設

1) 地域の環境向上・市民生活に寄り添う施設



地球環境にやさしい建築であるとともに、豊かな地域環境を形成し、地域社会に貢献する施設



低層高密度な街の中にオープンスペースをつくり、豊かな地域環境形成に貢献



芝生の緑の床+シンボルツリー+メインストリート沿いの並木
→高い緑地率と奥行き感のあるランドスケープデザイン



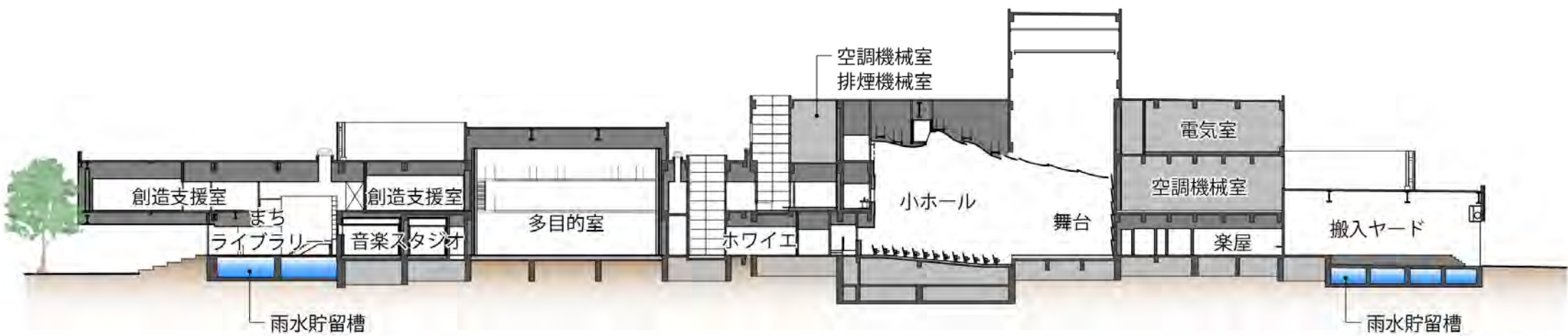
雨天時でも市民の居場所となる「積敷ピロティ」を創出



屋上緑化によるヒートアイランド化の抑制



駅前立地のため、駐輪施設にも活用できる幅広歩道空間の確保し、地域環境の向上に寄与

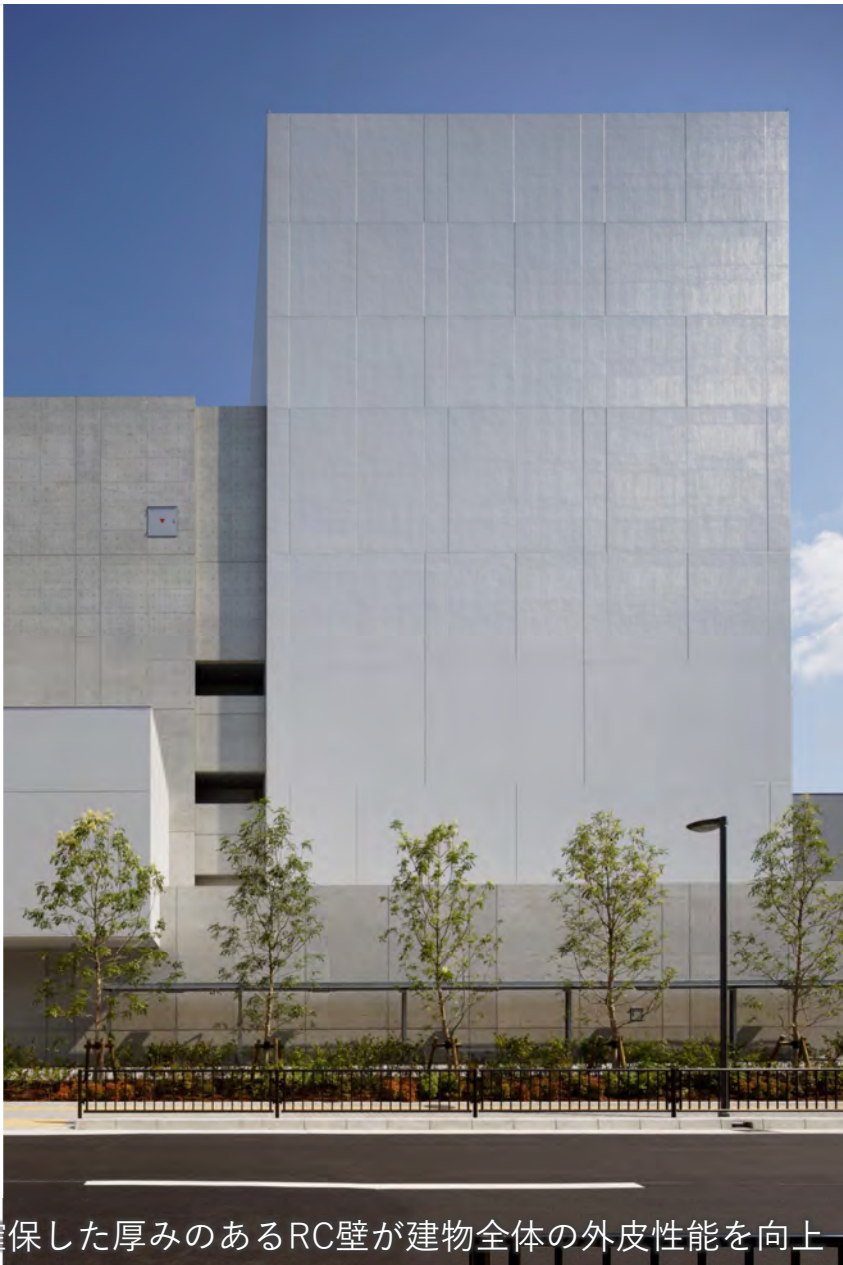
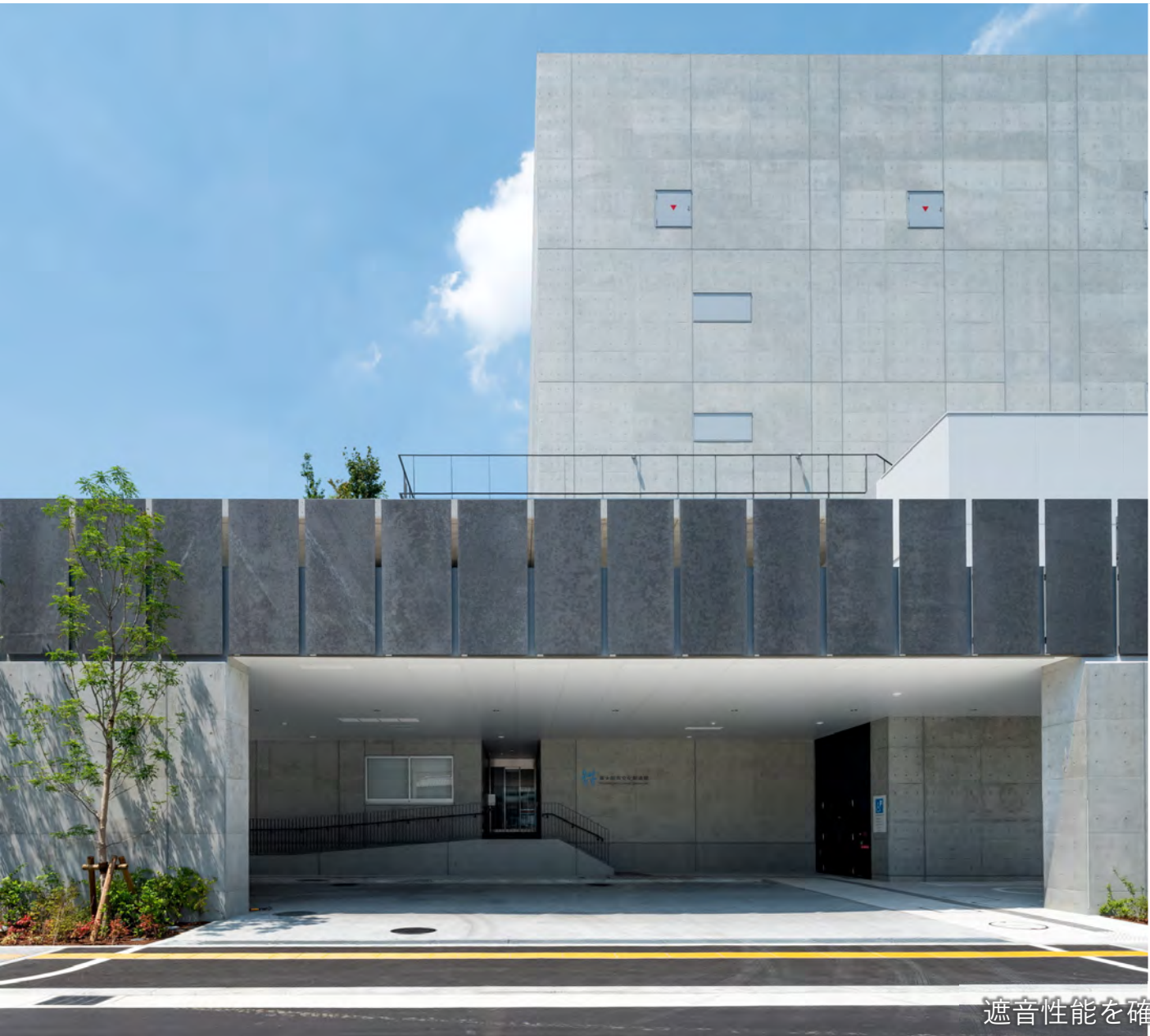


東大阪市基準値の容量を10%増量した雨水貯留槽を確保し、雨水流出を抑制することで地域インフラの負担軽減に寄与

2) 劇場建築としての環境配慮

2) 劇場建築としての環境配慮



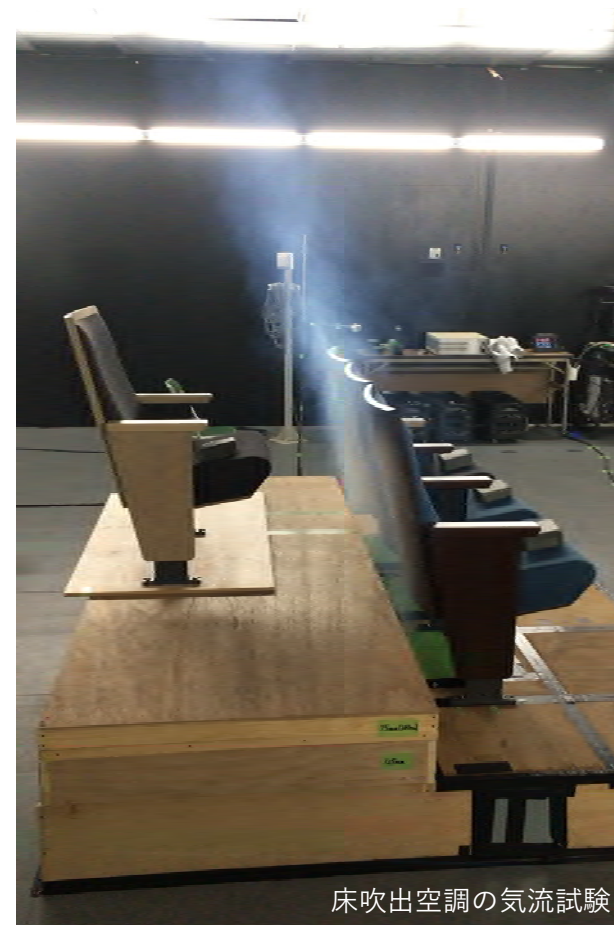
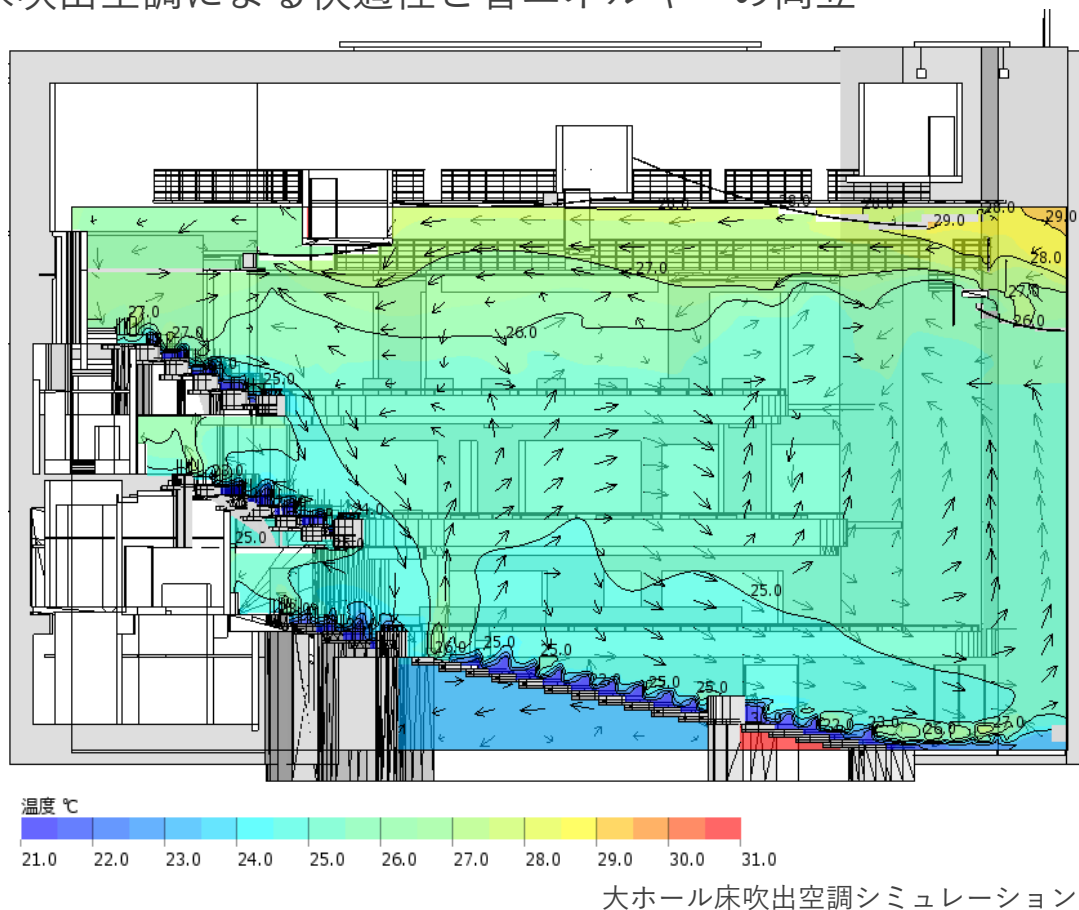


遮音性能を確保した厚みのあるRC壁が建物全体の外皮性能を向上



NC+20を確保した最高の音響空間と上質な鑑賞空間

床吹出空調による快適性と省エネルギーの両立



ホール客席空調は床吹出方式を採用し、大空間全体を空調する場合に比べて省エネルギーとなるよう配慮した。吹出温度を冷房21°C、暖房24°Cとすることで不快なドラフトを軽減し、CO2濃度による外気量制御を行うことで空調負荷削減に寄与した。また、外気冷房制御を採用することで冬期の空調動力削減を実現している。

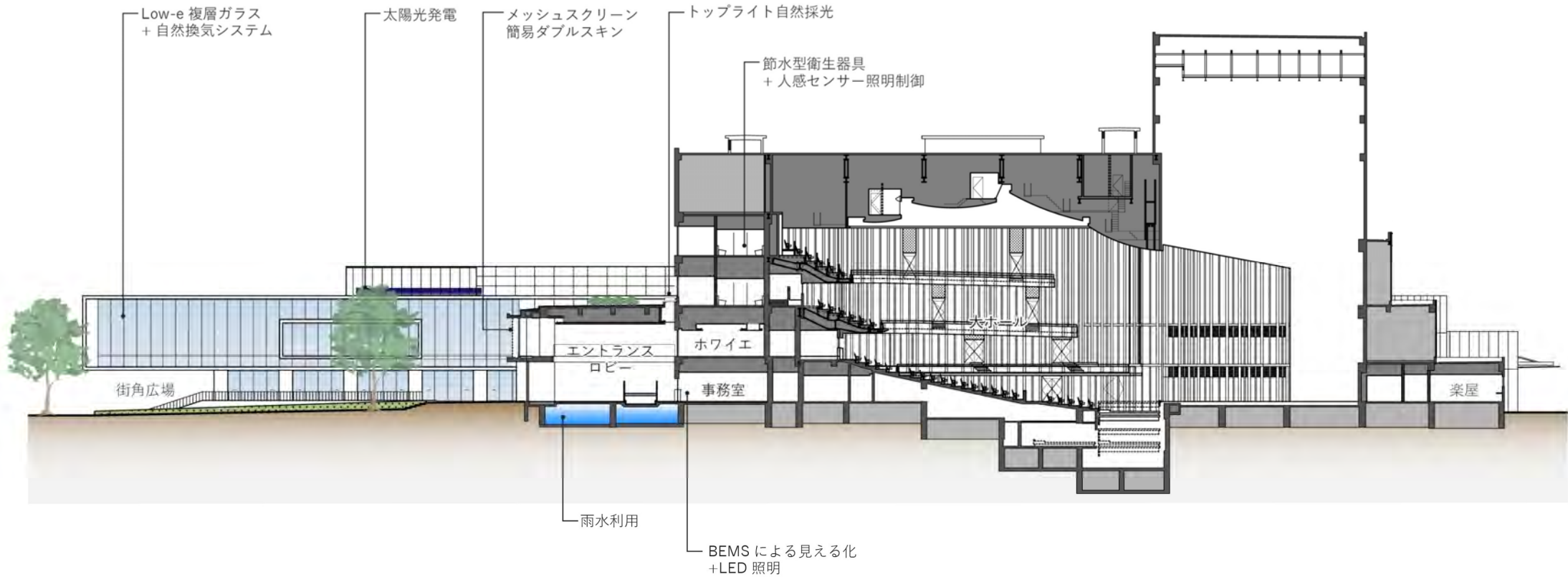
床吹出空調による快適性と省エネルギーの両立



空調床吹出口

3) 自然エネルギーの有効活用と省エネシステムの採用

3) 自然エネルギーの有効活用と省エネシステムの採用





大開口やトップライトによる自然光の積極的導入による居住環境と省エネ性能の向上



奥行きのある建物内部に自然光を取り入れる中庭



Low-e複層ガラスによる空調負荷低減と自然換気スリット組み込みサッシの採用



東大阪らしさを表現するメッシュスクリーンによる簡易ダブルスキンシステムによる空調負荷低減



太陽光発電による自然エネルギーの活用

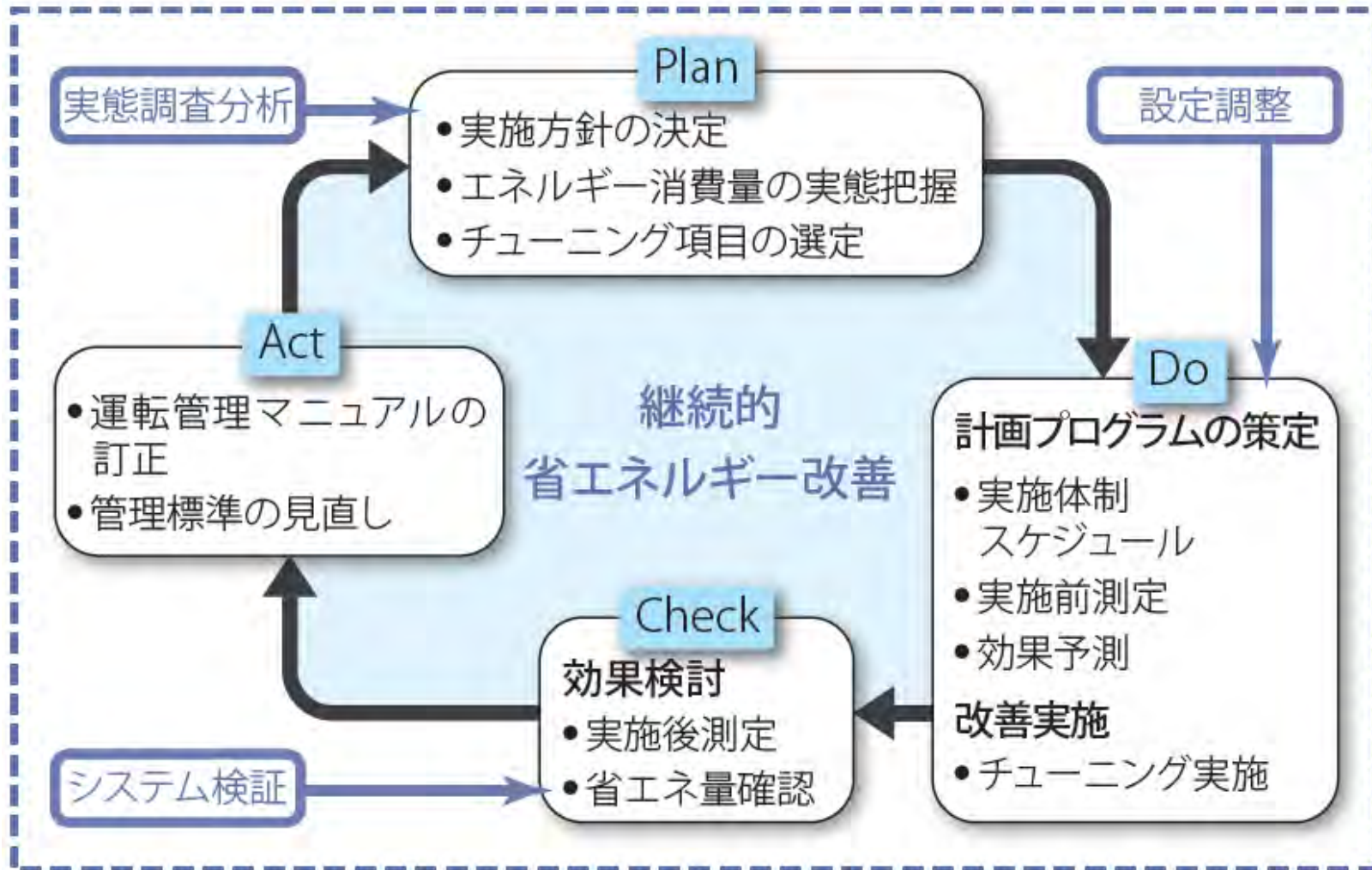


照明器具は全館LED照明化とし、人感センサーの適宜配置により消費エネルギーを削減



衛生器具は節水型器具を採用し、雨水を植栽散水用に再利用することで水資源を省力化

BEMS運用サイクル



BEMSによる施設全体のエネルギー監視と効率的な設備運用（省力化・省エネルギー化）を支援

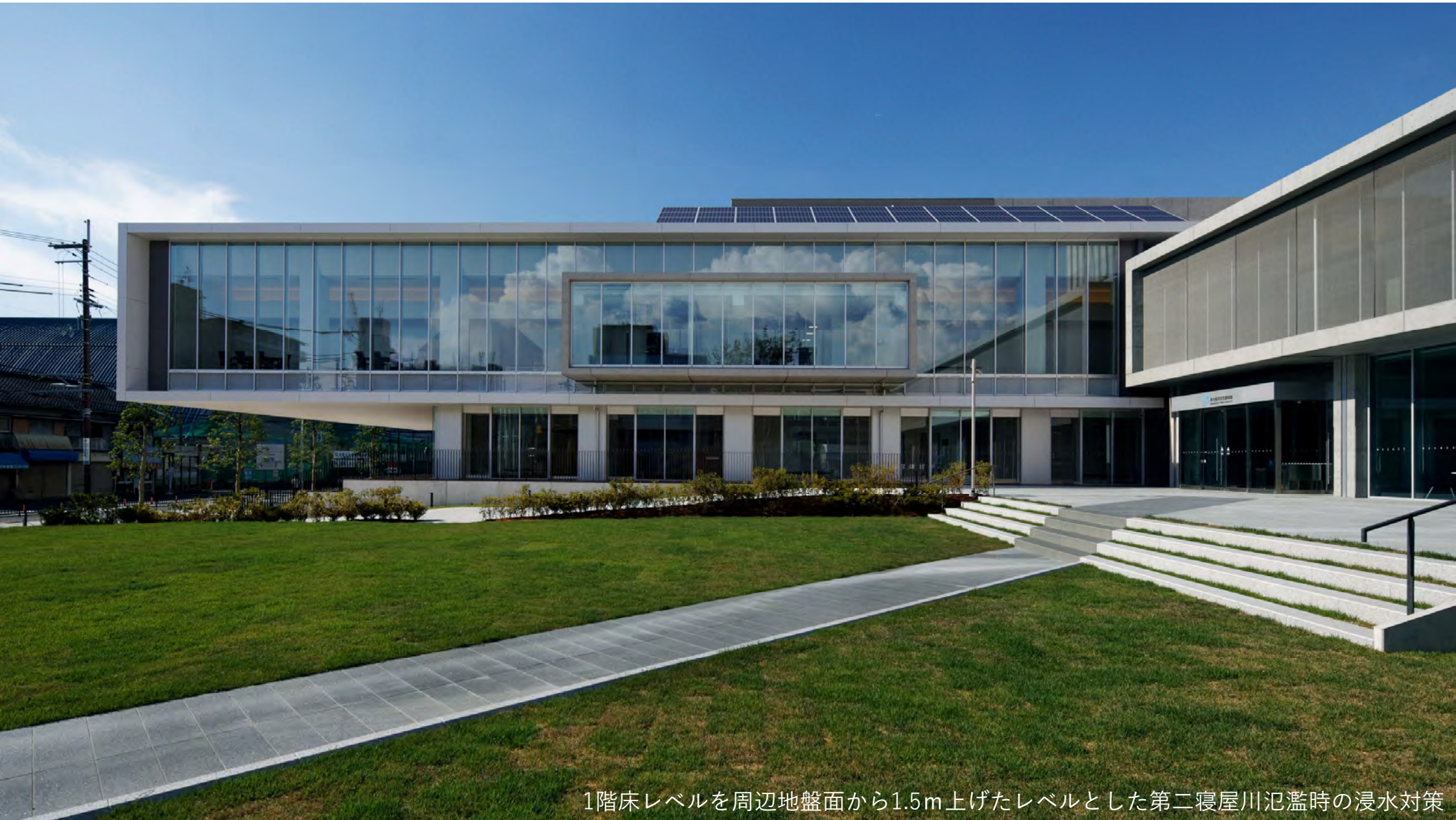
4) 公共建築としてのBCPを高めた施設計画

4) 公共建築としてのBCPを高めた施設計画

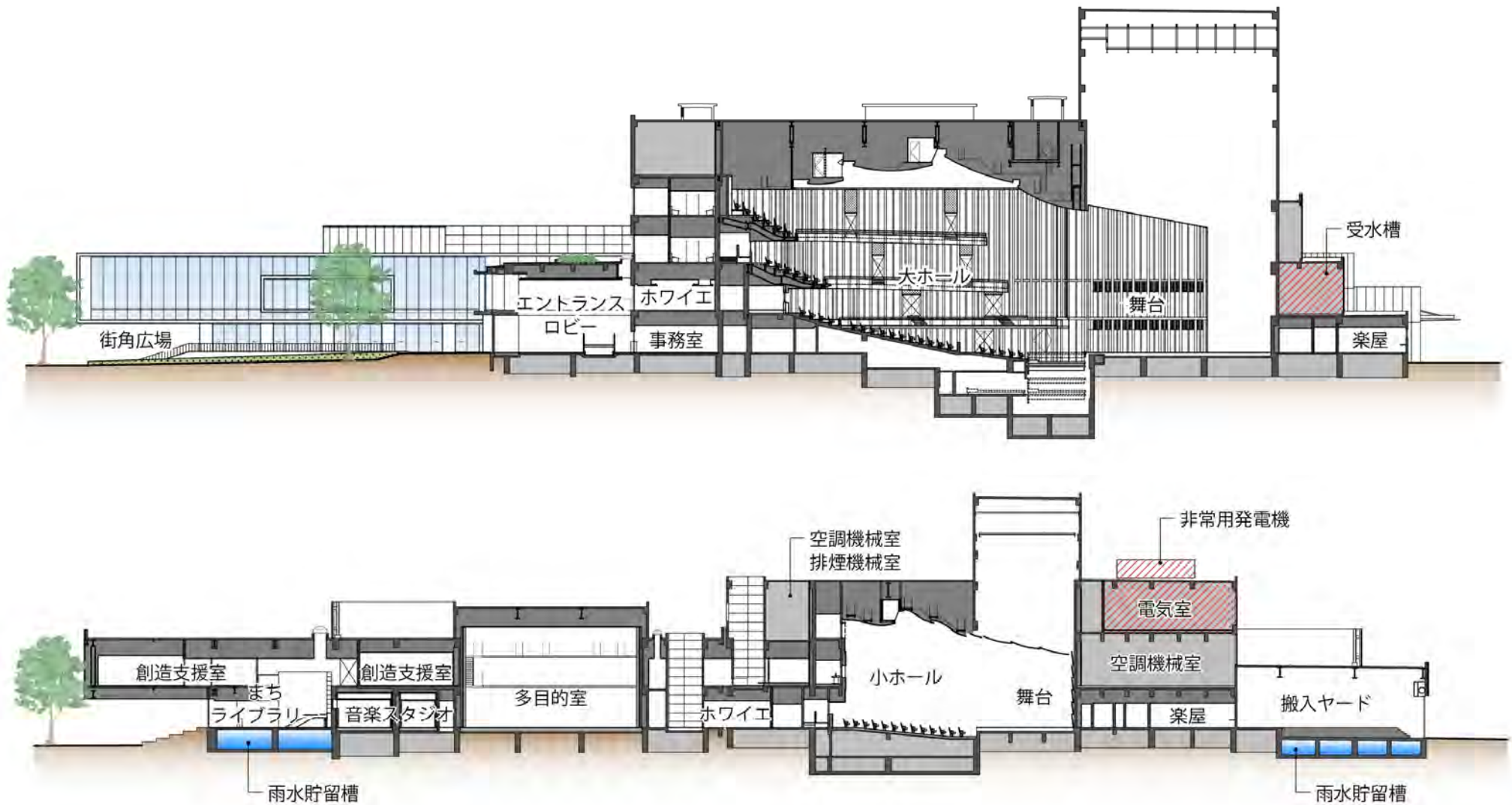




建築基準法の1.3倍の保有水平耐力を確保した高い耐震性の構造体



1階床レベルを周辺地盤面から1.5m上げたレベルとした第二寝屋川氾濫時の浸水対策



電気室、受水槽室を2階より上のフロアに計画し、水害時の建物機能を維持
72時間連続運転が可能な非常用発電機と3日間の容量を確保した受水槽により非常時の電源と水を確保



3日間の容量をもった非常用汚水槽を確保し、外構に設置できるマンホールトイレにより、災害時の排水機能を維持



備蓄倉庫や市民の一時避難場所として機能できる創造支援室を整備

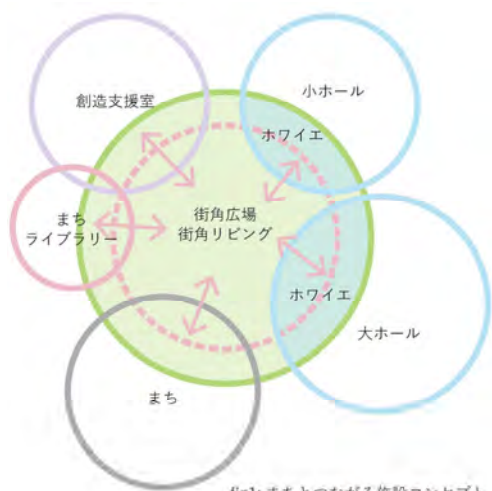


fig1: まちとつながる施設コンセプト



東大阪市文化創造館
HIGASHIOSAKA Cultural Creation Hall

